

## 乳幼児の発育発達に影響を及ぼす保育条件に関する研究 — 第一報 保育条件の検討

(分担研究：小児の発育発達に及ぼす地域家庭の影響に関する研究)

南部 春生<sup>\*</sup>，大木師礎生，池田 宏，高橋美恵子，佐藤加代子

**要約** 種々の保育条件下で乳幼児がどのような発育発達、罹病状況を示すかを検討するのが、本研究の目的である。保育条件については家庭、施設および家庭と施設の連係等で検討するが、今年度は東京、千葉、神奈川、北海道の17施設1,311人(男子578人、女子713人)の母親に対して、主として「親と子どもの生活」についてアンケートを行い、本研究の今後の検討課題を考察した。

**研究目的** 集団生活(保育園、幼稚園など)を送る乳幼児の増加に伴い、その乳幼児の健康安全の確保は重要な課題であり、健全な発育発達を保障するための保育は必須の条件である。我々は集団保育の乳幼児を対象にその発育発達罹病状況を調査し、保育条件と発育発達の間を調査し、今後の保育に役立てることを本研究の目的とした。

**研究方法** 1) 施設(保育園、幼稚園)の保育条件、保育のモットーを調査する「アンケート調査(1)」を参照。2) 保育園、幼稚園児の母親に対して、主として「親と子どもの生活」について調査する「アンケート調査(2)」を参照。3) 子ども達の身体発育、栄養、罹病状況などを知る調査「調査紙(3)」を参照。以上の3点について調査した。

4) 調査の対象 東京、千葉、神奈川、北海道の保育園14、幼稚園3の施設が平成元年度の調

査対象で男子588人、女子713人、合計1,311人の園児についてアンケート調査、身体発育、罹病状況、施設の状況を調査した。

**結果** 1) 施設の保育条件 表1に東京、千葉柏市、神奈川川崎市の9保育園、1幼稚園表2に北海道札幌市の4保育園、2幼稚園及び浜益村季節保育園における保育条件を示した。保育園においては園児の年齢によって職員数の配置は異なるが、ここでは一律に職員1人当りの園児数をみた。この園児・職員比(A/B)は東京、千葉、神奈川では3.9人から17人と大きな差があり、1幼稚園のそれは10人であった。また北海道の保育園では5.5人から9.2人であり、2幼稚園のそれは17人~21人と多かった。また職員の勤続年数を園児・職員比で除したものをその施設の充足度 Index (D/C) として検討したが (Index >1 を仮に良好とする)。

\* 札幌天使病院小児科 (Dept. of Pediatrics, Sapporo Tenshi Hospital, HOKKAIDO)

東京・千葉・神奈川で1以下の施設は10施設中3施設であったが、北海道では殆んどが1以下の施設であった。

2) 保育施設のモットー(表3) 施設がモットーとしていることを聞いたが、健康・心豊か・伸び伸び・明るく・思いやり・根性・たくましさ・遊びを大切に様々であった。

3) アンケート調査回収数(表4)

平成2年1月現在の回収数は1,311人(男子598人、女子713人)であった。2保育園は未回収、未整理で、これに数カ所の施設が加わる予定である。

ここで東京神愛保育園(53人)の結果を示す。①対象園児の家族歴(表5) 母親の30人が完全就職、祖父母との同居者は15人であった。②親と子どもの健康状態(表6) 母親の妊娠異常は8%、出産異常は13%、子どもが病気がし易いとしたものは0-2才児29%、3才以上33%、入園時の不安は乳児で59%に認められた。③親と子どもの生活 親の性格は母親の申告によったが、子どもと一緒にいると楽しさがまあまあは18%、子どもと遊ばない親18%、泥遊びの出来ない親が20%を超えていた(表7)。

食事を強制する親は乳幼児とも60-70%と多く、家族揃って朝食・夕食をとるものは1/3家族で、夕食前に何かを食べさせたり、何らかの食行動の不安がうかがわれた。(表8)。

また、添い寝をしないものが12-27%、子どもの就眠時間は午後8-11時までで、10時に集中していた(表9)。

排泄のしつけは0-2才児65%、3才以上児で80%が2才までにしていた(表10)。

通園時間は自転車もしくは徒歩で20分以内

で、この園の保育に非常に満足している親が多いが、満足・まあまあは検討の必要がある。

考察 以上述べた施設の保育条件、アンケート調査成績から、乳幼児の発育発達に影響を及ぼす可能性があると思われるものについて検討した(表11)。この家庭、施設、両者の関係の中から、いづれの課題を比較の基軸として選択し、施設別に、例えば保育園は公立保育園と私立保育園、昼間保育と夜間保育、しつけ保育と遊び保育といった比較から、乳幼児への発育発達の影響をみ、これを保育現場で役立てさせることが必要である。また施設内における人的、物的、糖神的環境について、どのような検討が必要であるかも考慮中である。

## 文 献

1) 弓削マリ子：乳幼児の育児環境と発育に関する縦断的研究(第2報)、小児保健、42:354~364、1983

2) 加藤則子、他：健康な乳幼児の一時的体重減少の原因と予後、小児保健研究、47:572~576、1988

## Abstract

Study on the Fostering Conditions in Child Growth and Development

Haruo Nambu, Shisao Oki, Hiroshi Ikeda,

Emiko Takahashi and Kayoko Sato

To discuss how child show the growth and development under various fostering conditions is the aim of this study. This year questionnaires on life of parents and children were sent to 1,311 mothers in 17 institutions and study theme is discussed.

# アンケート調査 (1)

貴園の名称

園

## 1. 園の形態

- 1) 保育園 (公立 私立)
  - a. 年齢別保育
  - b. 異年齢混合保育
  - c. 夜間保育
  - d. その他(無認可、事業所、季節)
- 2) 幼稚園
  - a. 年齢別
  - b. 異年齢混合
  - c. その特長は  
イ) 遊び ロ) 勉強 ハ) しつけ

## 2. 保母・教諭

- 1) 貴女のクラスの園児数は 人 それに対し保母・教諭の数は 人
- 2) 園全体の平均勤続年数 約 年
- 3) 園の保育モットーをお書き下さい。

## 3. 家庭と施設における生活

- 1) 特に家庭ではどうか  
(アンケート調査)
- 2) 身体発育とその時々の問題 \*(備考)  
\*備考欄には疾病、環境変化などを記載

# アンケート調査 (2)

男 ・ 女

園児の名前：

昭和  
平成

年 月 日生， 歳

- 1 父親 歳， 母親 歳（完全就職， パート， 専業主婦， その他： ）
- 2 兄弟（ ）人中， 第（ ）子， 祖父母と同居（父方， 母方， その他： ）  
姉妹
- 3 園までの距離（約 km， 車・自転車・徒歩 分）
- 4 妊娠の異常 無， 有（ ）， 出産の異常 無， 有（ ）
- 5 出生体重 g， 身長 cm（母乳・混合・人工）
- 6 病気しやすい子（ハイ・イイエ）， 入院する病気 無， 有（ ）
- 7 予防接種（ツ反・BCG， 百ジ破， ポリオ， 麻疹， おたふく， 水痘， その他 ）
- 8 入園時（ 歳）の体重 g， 身長 cm， カウプ指数  
入園時に心と体の不安 無， 有（アトピー， ぜん息， その他： ）
- 9 貴女は子どもと一緒にいると（<sup>1</sup>楽しい， <sup>2</sup>まあまあ， <sup>3</sup>楽しくない）， 夫は（イ・ロ・ハ）  
貴女の性格（<sup>1</sup>のんびり， <sup>2</sup>神経質， <sup>3</sup>わからない）， 夫は（イ・ロ・ハ）
- 10 貴女は子どもと<sup>1</sup>よく遊ぶ（外で・家で・両方）， <sup>2</sup>遊ばない， 夫は（イ・ロ）  
貴女は泥遊びが（<sup>1</sup>出来る， <sup>2</sup>出来ない）， 夫は（イ・ロ）
- 11 貴女は食事の無理強いを（<sup>1</sup>する， <sup>2</sup>しない， <sup>3</sup>したことがある）， 夫は（イ・ロ・ハ）
  - a 食事は誰と食べることが多いですか
    - (イ) 朝：子どもだけ・母親と子どもが・家族揃って， その他（ ）
    - (ロ) 夜：子どもだけ・母親と子どもが・家族揃って， その他（ ）
  - b 夕食前にお子さんは何かを食べますか  
食べるが多い・時々食べる・ほとんど食べない
  - c 食事のことで何か困ったことがありますか
    - (イ) 子ども： 少食・偏食・むら食い・かめない・その他（ ）
    - (ロ) お母さん： " " " "（ ）
    - (ハ) お父さん： " " " "（ ）
- 12 子どもと一緒に添い寝を（している・しない・したことがある）  
子どもは 父親と寝ている・兄弟姉妹と寝ている・一人で寝ている  
お子さんが寝る時間は（ 時頃）が多い
- 13 排泄の癖を（した： 歳頃， しない）， 夜尿症が（ある・ない）
- 14 子どもが病気で休む時， 誰が子どもの面倒をみますか（ ）
- 15 園の保育に対して（非常に満足・満足・まあまあ）

以上，該当する項目に○もしくは字句を入れて下さい。

調査(3)

身体発育・栄養とその時々の状態

名前:	体重 g	身長 cm	カウプ指数	栄 養	備 考
出 生 時					
1 カ 月					
1～2 カ月					
2～3 カ月				離 乳 開 始 生後 カ月頃	
3～4 カ月					
4～5 カ月					
5～6 ヶ月					
6～7 カ月					
7～8 カ月				離 乳 完 了 生後 カ月頃	
8～9 カ月					
9～10カ月					
10～11カ月					
11～12カ月					
1年3カ月児					
1年6カ月児					
2 年 児					
2年6カ月児					
3 年 児					

4 年	～ 2カ月	～ 4カ月	～ 6カ月	～ 8カ月	～10カ月	～12カ月
体 重						
身 長						
カウプ指数						
備 考						

5 年	～ 2カ月	～ 4カ月	～ 6カ月	～ 8カ月	～10カ月	～12カ月
体 重						
身 長						
カウプ指数						
備 考						

表1 調査対象施設の保育条件(1)

施設		神	愛	小	上	豊	あ	東	柏	土	中
		愛	児	田	水	町	け	町	(幼)	淵	野
保育条件				原			ぼ				島
A:園児数		74	288	90	340	92	73	77	210	111	95
B:職員数		19	21	21	20	13	7	12	21	22	22
C:A/B		3.9	13.7	4.3	17	7.1	10.4	6.4	10	5.0	7.3
D:勤続年数		7.5	7	7	10	7.5	7.8	10	10	5	12.4
Index=D/C		1.92	0.51	1.62	0.59	1.06	0.75	1.56	1.0	1.0	1.70
保育 条件	年令別	●	●	●	●	●	●	●		●	●
	異年令別		▲	▲							
	その他								5才児		
回 収 数	男子	24	100		65	47	32	33	40	47	49
	女子	29	89		58	43	40	37	38	64	41
	合計	53	189		123	90	72	70	78	111	90

表2 調査対象施設の保育条件(2)

施設		保 育 園				浜 益 村	幼 稚 園	
		青葉	24軒	24軒	創成		天使	トモエ
保育条件								
A:園児数		120	60	28	103	55	214	150
B:職員数		16	11	5	14	6	12	7
C:A/B		7.5	5.5	5.6	7.4	9.2	17.8	21.4
D:勤続年数		9.3	4.6	3.8	5	6	6	9
Index=D/C		1.24	0.84	0.67	0.67	0.65	0.34	0.42
保 育 園	年令別		●	●	●			
	異年令別	●				●	●	●
	その他			夜間		季節	教育	遊び
回 収 数	男子	52	31	13	44		89	32
	女子	55	28	15	31		114	21
	合計	107	59	28	75		203	53

表3 調査対象施設の保育モットー

保育の モットー	施設		神愛	小田	上水	豊町	あけぼの	東町	柏幼	土渕	中野島	青葉	24軒	24軒	創成	浜益	天使	トモエ	
	愛児	原水											南	夜		村	幼	幼	
個人を大切，伸び伸び 健康，遊び，生き生き	●										●				●				
心豊かさ，伸び伸び 健康，明るく，思いやり 明るく，仲良く，根性 健康，たくましさ，根性 外遊び，裸足，可能性		●	●			●	●	●		●		●		●			●		●

表4 アンケート調査回収数(H2.1)

項	施設名	男子	女子	計
A	神愛	24	29	53
B	愛児	100	89	189
	小田原 上水	65	68	123
C	豊町	47	43	90
	あけぼの	32	40	72
	東町	33	37	70
	柏(幼)	40	38	78
D	土渕	47	64	111
	中野島	49	41	90
E	青葉	52	55	107
	24軒南	31	28	59
	24軒(夜)	13	15	28
	創成	44	31	75
	浜益村			
	天使(幼)	89	114	203
トモエ(幼)	32	21	53	
合計		598	713	1,311

表5 対象園児の家族歴

園児の年齢		～1	～2	～3	～4	～5	～6	計
神愛	男子	4	3	3	4	2	8	24
	女子		4	3	5	7	10	29
	計	4	7	6	9	9	18	53
父母の年齢		～19才	20 ～24	25 ～29	30 ～34	35 ～39	40～	計
父				2	12	20	19	53
	母			4	27	14	8	53
同胞数	出生順位	オ1子	オ2子	オ3子	オ4子	計		
	1人	13					13	
	2人	8	15	1			24	
	3人		5	8			13	
	4人				1		1	
	計	21	20	9	1		51	

母の職業：完全就職 30 祖父母と同居  
 パート 10 父方 9  
 自営業 2 母方 6  
 その他 1 その他 1

表6 親と子どもの健康状態

●母親の健康状態

- 無(%), 有  
 1. 妊娠の異常 44(83) 4(8)  
 2. 出産の異常 44(83) 7(13)

出生体重	~2499g	2500 ~2999	3000 ~3499	3500 ~3999	4000~
男子	0	11	8	2	
女子	6	6	15		

3. 確立栄養 男子(%), 女子(%)  
 母乳 4(17) 9(31)  
 混合 17(71) 12(41)  
 人工 3(13) 5(17)

●子どもの健康状態 0~2才, 3才~

1. 病気が多い 5(29) 12(33)  
 2. 入院する病気 6(35) 1(3)  
 ぜん息2, 肺炎2, その他1  
 下痢1, 腎盂腎炎1  
 3. 入園時の不安 10(59) 3(8)  
 アトピー5, ぜん息2, 精神運動発達障害1  
 言語発達遅延2, Down症1  
 病気が多い1, 卵アレルギー1

表7 親と子どもの生活(1)

親の性格	のんびり	神経質	両方・不明
母	30	11	5
父	29	10	6

子どもと一緒にいる時は	楽しい	まあまあ	楽しくない
母	44	7(14)	
父	37	8(18)	

子どもとは	よく遊ぶ(外, 家, 両方)			遊ばない
母	43	2	17	23
父	35	-	-	-

泥遊び	出来る	出来ない
母	41	9(18)
父	31	15(33)

表8 親と子どもの生活(2)

食事の強制		する	したことがある	しない
母	0~2才	3	8	6(35)
	3~	5	20	9(26)
父	0~2	2	8	6(38)
	3~		16	13(45)

食事は		子どもだけ	母と子ども	父と子ども	家族揃って	その他
朝食	0~2		10	2	7	1
	3~	6	16		12	
夜食	0~2	1	9	1	9	
	3~		19		16	

夕食前に何かを食べる	食べることが多い	時々食べる	殆んど食べない
0~2	9	5	4
3~	11	15	8

摂食不安		少食	扁食	むら食い	かめない	その他
子ども	0~2	3	4	2	1	3
	3~	5	4	6		
父母		1	1			

表9 親と子どもの生活(3)

添い寝	している	したことがある	しない
0~2才	14	3	2(12)
3~	15	12	10(27)

子どもは	父親と寝ている	兄弟姉妹と寝ている	一人で寝ている
0~2		2	3
3~	1	6	12

就寝時間	~7時	~8	~9	~10	~11	~12	12~
0~2			6	11	1		1
3~		1	10	20	2		

排泄の癖	した	~1	~2	~3	~4	しない
0~2	11	2	7			6(35)
3~	26	3	16	2		6(19)

夜尿症	ある	ない
0~2	6	2
3~	7	24

表 10 親と子どもの生活(4)

1. 通園の方法と所要時間

項	分	～9	10～19	20～30	30～不明
車		3	1		2
自転車		10	8		1
徒歩		13	10	1	
その他			1		

2. 病気で休んだ時の介護人

母	母か父	父	祖父母	知人	ベビー シッター	その他
34	8	1	12	2	1	

3. 園の保育に

	非常に 満足	満足	まあまあ
0～2才	8	6	3(6)
3～	21	15	

表 11 保育条件の検討

1. 家庭の条件

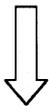
性, 出生順位, 母子・父子家庭  
 母親の職業(完全・パート・専業・その他)  
 祖父母との同居, 確立栄養  
 親(母)と子どもの健康状態  
 親の性格, 遊び方(泥遊びなど)  
 添い寝, 排泄の躰, 食事の強制など

2. 施設の条件

保育園・幼稚園(保育形態)  
 園児数と職員数(勤続年数)  
 施設の保育モットーなど

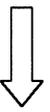
3. 家庭と施設の関係

入園時の不安, 保育満足度  
 通園方法と所要時間など



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 種々の保育条件下で乳幼児がどのような発育発達、罹病状況を示すかを検討するのが、本研究の目的である。保育条件については家庭、施設および家庭と施設の連係等で検討するが、今年度は東京、千葉、神奈川、北海道の17施設1,311人(男子578人、女子713人)の母親に対して、主として"親と子どもの生活"についてアンケートを行い、本研究の今後の検討課題を考察した。